

# MANY



令和2年9月10日(毎月第2・4週配信)MANY(Morality Active Network of Youth)

モラロジー青年活動ネットワーク メールマガジン

## 令和専攻塾 開塾記念WEB特別講演会

近年の自然災害に加え、新型コロナウイルス感染拡大、経済、外交、安全保障と問題が山積しています。まさに国難です。私たちが諸問題の解決の一つひとつ向き合っていくときに、その本質を見失うことがないようにしなければなりません。確固たる国家観なくして、国難は乗り越えられないでしょう。

今週、当研究所の櫻井よしこ顧問が塾長をつとめる「令和専攻塾」が塾生50名を迎え開塾します。国家の課題(憲法、教育、経済、歴史認識)を1年間学んでいきます。開塾式の講演をWEBでも配信しますので、ぜひ多くの方にご視聴いただければと思います。

申込み:<https://reiwajuku20200913.peatix.com/>

演 題:「21世紀の国難を乗り越える～令和日本のあるべき姿～」

講 師:櫻井よしこ氏

視聴期間:9月13日(日)13時～14日(月)12時

## 新型コロナウイルス対策 プロモーションビデオ公開！

「講座・セミナーにおける新型コロナウイルス対策について」のプロモーションビデオが完成しました。動画の視聴はモラロジーネット、モラロジー研究所 HP の概論、論文講座の紹介ページまたは、QR コードからご覧ください。



新型コロナウイルス対策

お問合せ先

生涯学習センター 講座運営課 [TEL:04-7173-3260](tel:04-7173-3260)

モラロジーネット (<http://www.moralogy.net>)

モラロジー研究所 HP (<https://www.moralogy.jp/>)

## 第1回 九州青年大学 in ZOOM

日 時:令和2年9月20日 19時～20時30分

テーマ:コロナ問題とどう向き合うか

講 師:大野 正英(研究センター社会科学研究室)

参加対象:青年

申込み:右記の Google フォームに入力

参加費:無料(任意で豪雨災害寄付を募ります)



## 好評につき第2弾！『ニューモラル』 SNS キャンペーン 電子書籍 無料公開！

5月に実施し、ご好評いただいた『ニューモラル』SNS 家族のきずなキャンペーン。

第2弾として9月1日より『ニューモラル』SNS 全国敬老キャンペーンを実施します。特別号の電子書籍や朗読音声を無料で配信します。



キャンペーンページ URL、右記の QR から

[https://www.moralogy.jp/nm\\_sns\\_cp](https://www.moralogy.jp/nm_sns_cp)

※『ニューモラル』全国敬老キャンペーン特別号は 既刊号(H29、H30)です。

お問合せ:青年育成課 [TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) 広報出版部 [TEL:04-7173-3547](tel:04-7173-3547)

## 学生モラロジー研究会 新スタッフを迎え、新体制！

9月5、6日に関東学生研究会のミーティングが行われました。これまでミーティングを見学していた10名が新しいスタッフとして加わり、来年3月大学生セミナー＆高校生セミナーに向けて、新体制がスタートしました。



今回は、両セミナーの枠決め、日毎決め中心に話し合いを行いました。6日の午後は青年育成課の森田課長より、研究所の歴史、学生研究会の歴史について紹介しました。

コロナ渦の状況で、制約がありますが学生たちは参加者が少しでも安全安心に過ごせるよう取り組んでいます。

## 聞かせて！君のボランティア・スピリット・アワード募集中

「Prudential SPIRIT OF COMMUNITY ボランティア・スピリット・アワード」(通称: SOC)とは、ボランティア活動に取り組む中学生・高校生を支援するプログラムです。ボランティア活動の内容、活動を通じて学んだことを情報交換できる場所です。是非、応募してください。

応募締切:令和2年10月9日(金)

各賞には活動資金などの贈呈があります。

コミュニティ賞2万円、文部科学大臣賞10万円

SPIRIT OF COMMUNITY 賞10万円、ブロック賞5万円

詳細はホームページをご覧ください ボランティア・スピリット HP (<http://www.vspirit.jp>)

## 恩を知って、時代を見抜いて行動しよう！

### 道徳心を発揮するとき

台風が、大きな被害をもたらしています。このコロナ状況下では、現地へ赴いてのお手伝いは限られるでしょう。各地で災害などにより困難な状況が起きた際に、災害募金、物資援助などできることを考え、行動していける道徳共同体をつくっていくことが私たちの使命となるでしょう。

メールマガジン No.440号(R2.7.23発行)でも、災害に強い町づくりの核は「道徳」であること、「つながりは、誰かが与えてくれるものではなく、自身が行動し、地域や社会の仲間に加わって得

られるもの」と、記事で紹介しましたが、やはり日頃から道徳心を育て、行動していく必要があると思います。

## 意思の力で心をつくる

モラロジーでは、品性の重要性を学ぶときに、私たちの人生はさまざまな要因が総合的に影響し合って、形づくられていると教えています。『道徳実行の指針』では、その要因を、4つ挙げています。

- ①親、祖先から受け継いだ遺伝
- ②生まれ育った地域の自然環境
- ③社会的・文化的・家庭環境
- ④今日までの各自の心づかいと行い

私たちは、内側からは遺伝子の規定を受け、外側からは自然の環境の影響を受けて育ちます。そして、社会的・文化的環境および家庭環境の影響を受けて成長していきます。ここで、自分の意思の力で変えていけるところは、「心づかいと行い」です。

自分の心は変えられるのは当たり前だと分かっている、私たちは、いつも「国が変わらなければ」「この親がいなければ」「台風が来なければ」などと変えられないところに目を向けて、不平不満をぶつけていることに案外気がついていません。まず、自分から少しでも変えていくという意思を持ち続けたいものです。



## 恩を知ると元気になる

道徳心を育てていくには、「伝統」の大恩に気づくこと、そしての恩に報いていくことが大切になります。『れいろう』8月号に、モラロジー研究所の常務理事などを歴任した故・松浦勝次郎先生が、伝統の大恩を知ること、人生は大きく変わることを紹介していました。

「私がこれまで、多くの若い人たちと共に学ぶ中で目の当たりにしてきたことは、このような根本の恩に気づけた人は、気づいただけ、人間として確実に変わるということです。何よりも、伝統の恩を恩と感じることは、人の心を素直にして元気にします。伝統の恩を知り、感じることは、自分が真に大切にされ、守られていることを知り、実感することであり、それは自分が大切な存在であることを自覚することになります。自分自身が大切に守られ、育てられている大切な存在であることを自覚して、はじめて真に自分を大切にできる心、また、他者も大切な存在であると思うことができるのです」

伝統の恩を感じると元気になるという言葉に、勇気が湧いてきます。そして、自他ともに大切にできる心、また、他者も大切な存在であると思うことができるのです。自分自身が大切に守られ、育てられている大切な存在であることを自覚して、はじめて真に自分を大切にできる心、また、他者も大切な存在であると思うことができるのです」

伝統の恩を感じると元気になるという言葉に、勇気が湧いてきます。そして、自他ともに大切にできる心、また、他者も大切な存在であると思うことができるのです。自分自身が大切に守られ、育てられている大切な存在であることを自覚して、はじめて真に自分を大切にできる心、また、他者も大切な存在であると思うことができるのです」





感謝することから始めていくことが、必要だと思います。

## 時代を見抜いて行動する

先日、『「時代」を見抜く力』（渡部昇一著）を廣池理事長から勧められました。本書は、渡部昇一氏の代表的三部作「文科の時代」（1974年）、「腐敗の時代」（1975年）、『正義の時代』（1977年）に刊行されたものの中から、12項目を選び再編集され、今月出版された本です。

その内容は、40年以上も前のものとは思えないほど新鮮で、「義務教育を廃止せよ」の項は、ラディカルで、色あせていません。

それは、中山理先生（前麗澤大学学長、モラロジー研究所特任教授）が巻末の解説の中で「歴史が繰り返すことはありえぬことだ、しかし歴史のパターンは絶えず繰り返される」と紹介しているように、渡部氏は時代を見事に見抜いて、本質をしっかりと掴んでいる方だと思います。中山先生は最後にこうまとめられました。

「このポピュリズムの時代に民主政治を衆愚政治に墮落させないためには、また情報過多の時代に情報に振り回されず自分の頭でものを考えるためには、私たち一人一人が教養を深め、常識をより高いレベルに引き上げることが必要であろう。そのためのヒントが満載された、「知の巨人」の三部が、令和の新時代に甦る意義はすこぶる大きい。」

道徳の実行には勇気がいるとよく教えられますが、知恵も必要です。廣池理事長には、時代とその本質を見抜いて行動せよと、本書を通して教えていただいたと思いました。

## 青年期に、たえず学びながら行動する

価値観が凝り固まっていない、柔軟な青年期にこそ、しっかり学び、積極的に行動していくことが何より大切になります。そこには勇気が必要ですし、時代を見抜く力もなければ根本的改善に進むことができません。モラロジーが伝統を大切にする意義は大きいものです。「国家」「家庭」などの恩恵を受けとめ行動していきましょう。

（青年育成課 森田智）



### 【お知らせ】

次号は、令和2年9月24日です

基本的に毎月第2、4週配信！

活動情報、ご意見、ご感想など声をお聞かせください。

MANY事務局へ

[発行・編集]

公益財団法人モラロジー研究所 青年育成課

(<https://www.facebook.com/moralogy.many>)

住所:〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

[TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) FAX:04-7173-3259

※掲載記事の無断での転載、再配布はお断りいたします。事務局までご一報ください。